



刊夕
朝日新聞
行發日三十二月八
(刊休日翌日祭曜日)
番五六五、八〇一第報京東

新聞の顔

六條生

かすた技巧や誇張... 新聞の顔... 新聞の顔は、紙面の趣きや内容の多寡に必要を感じた... 新聞の顔は、紙面の趣きや内容の多寡に必要を感じた... 新聞の顔は、紙面の趣きや内容の多寡に必要を感じた...

（下）

如きは、紙面の趣きや内容の多寡に必要を感じた... 新聞の顔は、紙面の趣きや内容の多寡に必要を感じた... 新聞の顔は、紙面の趣きや内容の多寡に必要を感じた...

（下）

芝居に兩の半の盛かな... 芝居に兩の半の盛かな... 芝居に兩の半の盛かな...

三人三日會 (八月三日長生庵にて)

長生庵 竹 香

死と天國

松川 勇

死して如何なる宗教も... 死して如何なる宗教も... 死して如何なる宗教も...

死して如何なる宗教も... 死して如何なる宗教も... 死して如何なる宗教も...

妖刀流轉 (173) 邑井 貞吉演

おこし遊戯 (二)

佐々木春朝吉演

おこし遊戯 (二)

おこし遊戯 (二)

科外生募集

邦文タイプライター科

入學は毎月一臨時 卒業期間一五ヶ月

器械使用材料費一月金五圓五十銭

卒業生の就職率は各方面と連絡を有し特種教育

洋裁科 離進日本婦人の家庭職業

入學は毎月一臨時 卒業期間一三ヶ月

速成科一六ヶ月 月謝(三ヶ月卒業用)金三圓

五十銭 外に裁断科(三ヶ月卒業用)金三圓

(科目表)部分裁断 基礎縫 刺子縫 寸法取り

方、原型製出、ブルーム、スワップ、エブロン

コンビネーション、ロンパース、筒縮服、セー

ラー、シュミーズ

入學の資格 (兩科共高等女學校、實科女學校を卒業したるもの、本校本科を卒業したるもの、其他本校に於て相當の修得したもの)

文部大臣 認可

平陽女學校

平陽市 電話四五五番



高久病院

院長 高久 忠

電話五二三番

鐵道省指定記念

小名濱... 湯本間乗合自動車無料乗車券付

ビス

一般貨物運搬

迅速低廉に御取扱ひ致します。

福好工業合資會社

代表者 強口唯七郎

自動車部

電話二八二番

砂利、砂の御用金に對しては特に廉價にて御供給致します。

高島屋

男女學生夏服

高島屋

新柄着廣

レンコート

注文並ニ既製品

高島屋

平市二丁目

電話三八六番

鈴木醫院

内科 外科 婦人科 小兒科

院長 鈴木 喜政

平陽市 電話四五五番

根本醫院

外科 内科 婦人科 小兒科

院長 根本 貞次郎

平陽市 電話三五四番

福島縣立代用精神病院

郡山脳病院

郡山市外大槻村針生

電話九三五番

入院隨時

院長 金森 五郎

平陽市 電話四五五番

平屋賣店

靈峰羊羹 金十錢

平陽市 電話四五五番

安齊醫院

外科 内科 婦人科 小兒科

院長 安齊 謙

平陽市 電話四五五番

木村病院

外科 婦人科 小兒科

院長 木村 寅次郎

平陽市 電話四五五番

吉田科醫院

外科 内科 婦人科 小兒科

院長 吉田 久雄

平陽市 電話六八番

行事の特性尊重
 過般本社主催の下に開いた「七夕座談會」が、之に如何なる程度迄その期待に副ひ得たかは、査し未だ以て知り知るべからざるものがあるが、一部青年層の該行事に對する意識が表面化された意味に於て其の意義は始らく云はず、幸にして全然無意識に終らなかつた事を欣ぶものである。一、此座談會の問題は其の立場によつて觀點を異にする必然の結果として、概念的には最も優雅なる之の備し、現在に於ける鑑賞道徳の夕より更に一步を進め、之の人出を利用して買出しの機会をたらしめんとする希望の如き、寧ろ商家當然の見解であり、徒ら七夕への叛逆を冒して斥くべきでは無いが、從來吾人の世界に行はれ来つた幾多の舊慣古俗には自ら夫々の特質が存して、例へば正月の二日市は其事自体が最初から買取事買取事と目的の總てであり、軍神を祀る飯野八幡には弓、太刀、鐵砲、喇叭等々、少くも軍國氣分を象徴する玩具を以て多數の英雄のヒーロイズムを満足せしむる處に他に見られぬ特色を發揮して居る。夏井川は燈籠流しが水上の色彩の平面的なる立体的な空間の花火を配した観賞一本の備しなる如く、近年遠近に著聞するに至つた平の七夕は鐘出橋の其の如く、夜道の流心を綴り美しい灯の明滅を無けれ之亦全市を彩る豪華絢爛たる立体的陶酔する就美一元の備しである。而も當夜は愛児の擲行位を極限とする混雜で假に在所に陳列された特種品等を物色する機会を得るとするもの持ら物に關心の全部を注ぎ人波に採まるとの深刻な受難を感嘆する時、さうして其所に輪の如き牛、織女のロマンティックな味を尋ねて出れようか。徒に現實を放れた夢幻的議論に囚はれるものでないが、之の夜の賣出し併用説には相當の意見がある事であらう。

陽氣異變
 立秋後約半月、風のそよぐ虫の聲列年なら秋氣漸く清爽ならんとする頃であるが、今年は一休何とした天候異變である。昨二十一日の日照は僅然三十四度（華氏九十三度二分）、神谷農試分場観測所、平市内の工場地帯などは實に三十五度（華九十五度）前後に上つた處である。
 小名濱観測所の観測によつて昨日は三十四度二分（八六・三〇）と去年八月の三十四度五分（九四・一〇）に劣る本年第二位の暑さである。尚ほ向所の観測によつて昭和七年三月の三十四度四分（九四・八二）が同所開設二十六年以来の最高記録で前記を十八日の温度が其の次に上つてゐる。云々。
 海岸及び農試分場の数字と相違の點があるが平市としては分場の観測によるが正確に近い筈で之を見れば昨二十一日の市内は華氏の九十三度を上るとも下らなかつた事になる。
 消暑明けにつかぬ見當

明日は再び晴れ
 長官大佐が紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みが紹介し
 野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る
 警中生合格

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る

野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る

盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る

盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る

盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る

盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る

盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る

盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る

盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

野菜萎れる
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量
 盆休みの紹介し
 送炭珍しく減量

新機關車配給さる
 長大貨物列車輸送
 警中軍四回戦に敗る
 槍投

乗降一萬八千餘
 時局が反映して
 非常時を忘れた男
 刺す、殴る、蹴る